

# かすかべ KASUKABE 議会だより

2019(令和元)年5月1日発行  
発行・埼玉県春日部市議会  
編集・広報広聴委員会  
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

## 第55号



昨年の中庄内桜並木



平成31年4月1日現在  
人口 234,246  
男 116,285  
女 117,961  
世帯数 105,924

フジ

### 主な内容

- 主な議案の紹介…………… 2～3 ページ
- 審議結果…………… 4～5 ページ
- 一般質問…………… 6～15 ページ
- 閉会中の委員会活動…………… 15 ページ
- 傍聴して一言…………… 16 ページ

# 平成31年度一般会計予算は

## 721億4000万円

### 平成31年度 一般会計予算を可決

平成31年度の一般会計予算額は、3年連続増額で、過去最大の予算規模となる721億4千万円となりました。

歳入の主なものでは、市民税個人・法人において、景気回復や雇用拡大、企業業績の回復などを見込み、前年度比較で合計10億1千万円の増額を見込んでいます。

歳出に関しては、第2次総合振興計画のうち、3つの重点プロジェクトを中心に予算を配分しています。

はじめに、「子育て・健康長寿プロジェクト」として、子育てが楽しい、元気でいきいきと笑顔で暮らせるまちを目指し、市内すべての認可保育園施設におけるおむつの持ち帰りをなくし、保護者の送迎

時の負担を軽減したり、さまざまな保育サービスの相談や情報提供を行う保育コンシェルジュを配置するほか、2021年4月の開所に向けて、保育所及び児童発達支援センターの複合型施設建設工事に着手します。また、江戸川中学校の開校に伴い、通学距離が延長となる児童のためにスクールバスを導入します。

「まちの拠点整備・経済発展プロジェクト」では、誰からも選ばれる、魅力的でにぎわいのあるまちを目指し、春日部駅付近連続立体交差事業を推進するため、対象エリアの測量調査に着手し、周辺地区計画について検討します。

また、北春日部駅周辺地区における土地区画整理事業の実施に向けた事業計画を策定するとともに、事業の実現に向けて支援していきます。また、新たな地域産業の創出と雇用の拡大を図るため、創業支援

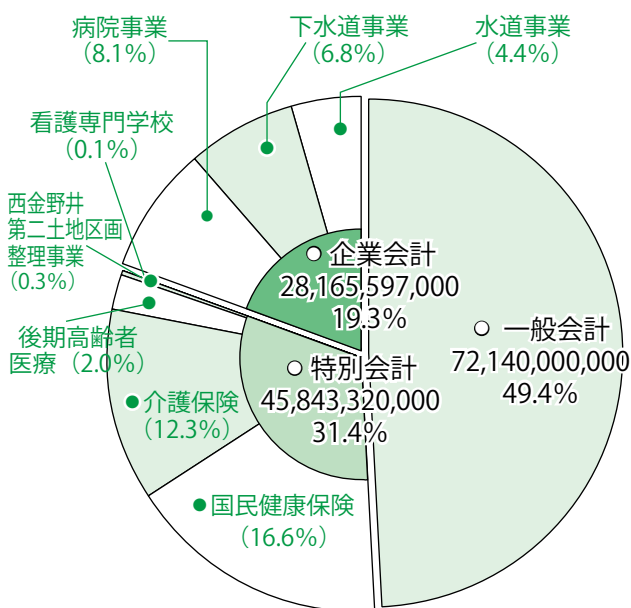
事業による支援を受けて市内に出店した者に対し、費用の一部を補助する、かすかべンチャー応援補助金を創設します。

「安心・安全・持続可能なまちプロジェクト」では、未来へつながる、みんなでつくる安心・安全なまちを目指し、市内小学校の通学路に街頭防犯カメラを設置したり、都市インフラマネジメント計画に基づき、道路、河川、公園など、老朽化したインフラ施設を計画的に管理、修繕、更新するほか、治水対策事業として、国の100ミリ安心プラン等により、準用河川安之堀川等の整備を行います。また、地球温暖化対策実行計画に基づき、環境負荷の少ない移動手段へ転換するため、公用車の台数適正化とともに、環境へ配慮した次世代自動車の導入を進めていきます。

【賛成多数で原案可決】

## 平成31年度 会計別予算

当初予算額 1461億4891万7000円



区分	予算額	前年度増減率	
一般会計	721億4000万0000円	1.4	
特別会計	国民健康保険	243億 964万0000円	△2.7
	介護保険	179億4867万1000円	2.1
	後期高齢者医療	30億2172万2000円	3.4
	西金野井第二土地区画整理事業	4億 782万1000円	△73.1
	看護専門学校	1億5546万6000円	2.6
企業会計	病院事業	118億3750万5000円	5.7
	下水道事業	99億3487万3000円	1.3
	水道事業	63億9321万9000円	△8.2
総額	1461億4891万7000円	△0.1	

※前年度増減率は、平成30年度当初予算との比較 (単位：%)

※計数については、それぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがあります。

## 修正案

修正案では、歳入歳入それぞれ16億5415万5000円を増額し、総額737億9415万5000円とするものです。

内容について、まず歳出では、①長寿記念事業として77歳の方へ1万円を贈呈、②介護保険料を1人5000円引き下げるため介護保険特別会計へ繰り出し、③国民健康保険税を1人1万円引き下げるため国民健康保険特別会計へ繰り出し、④市内経済活性化を図るために住宅リフォーム助成事業を創設、⑤小中学校体育館にエアコン設置するための調査費、⑥旧春日部地域の小中学校給食費を無料化するための補助、⑦市民プール建設に向けての調査設計、以上を提案します。

歳入では、①公民館使用料を無料化することによる減額、②予算修正に伴い不足する財源を賄うための財政調整基金繰入金を増額、③例年より少なめに繰越金15億円を計上、④旧庄和地域の小中学校給食費を無料化することによる雑入の減額、以上を提案します。

【賛成少数で否決】

## 討論

人口流出に歯止めをかけ、地域経済の活性化で活気を取り戻す修正案に賛成（日本共産党）

市政の役割は、国の悪政の防波堤となって市民の命と暮らしを守り、福祉の増進、子育て支援でまちの活気を取り戻すことです。人口減少に歯止めをかけることが春日部市の最大の課題です。

31年度予算は総額721億円で過去最大の予算となっていますが、市が今重視して取り組まねばならない課題に向きの予算となっていない。

修正案では、学校給食費の無償化は、子育て世代への経済的支援にとどまらず、教育の一環である学校給食を食育として充実させる抜本的な提案であります。また、国民健康保険税1人1万円の引き下げ、介護保険料1人5000円の引き下げや長寿記念事業として、77歳の方に1万円を支給。公民館は地域の活動の拠点であり、社会教育を充実させ、誰でも気軽に利用できるよう無料に戻します。さらには、学校体育館にエアコンの設置、住宅リフォーム助成

制度、市民プールの整備など

これら政策を実施することによって、若い世代の人口流出に歯止めがかかり、人口増に転じることができると期待されています。さらに、循環型の地域経済の活性化でまちの活気を取り戻し、税収を増加することができ、経済も財政も立て直す提案であることから、原案に反対し、修正案に賛成します。

人口増を目指した行政運営を強く要望し、原案に賛成（前進かすかべ。未来の会）

原案については、本市の将来像の実現に向け、3つの重点プロジェクトを中心にバランスよく予算配分を行い、各政策の目的達成に向けた施策がとられています。子育て・健康長寿プロジェクトでは、保護者、子育てにかかわる施設、働く保育士の目線で支援の充実が図れるものと評価します。まちの拠点整備・経済発展プロジェクトでは、魅力的でにぎわいのあるまちの実現に向けた前進が図られるものと考えます。安心・安全・持続可能なまちプロジェクトでは、都市インフラマネジメ

ント計画に基づいた道路、河川、公園の計画的な管理、修繕、更新を各分野で推進するための予算も計上されており、通学路への防犯カメラ設置では防犯対策強化が図られるものと評価します。今後、少子高齢化により扶助費等の負担が増える中、市税を中心とした自主財源の増加策をしっかりと実施し、より一層の行政改革を進め、無駄をなくす努力と、この予算で市長公約の人口1万人増を目指していく覚悟を持って行政運営していただきたいと強く要望し、賛成します。

修正案については、歳入に

修正案については、歳入削減と歳出拡大により生じる財源不足に対し、その穴を埋めるための確かな財源が示されておらず、中長期的な視点を欠いた持続可能性に乏しい無責任な予算案と言わざるを得ません。今後も多様化する行政需要を的確に捉え、持続可能で健全かつ安定的な財政運営を維持しながら、第2次春日部市総合振興計画に掲げる将来像の実現に向けて各施策を確実に推進していただくことを要望して、修正案に反対し、原案に賛成します。

## 3月定例会 審議結果

### 市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か べ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
議案第 1 号	長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 2 号	犯罪被害者等支援条例の制定 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 3 号	地域公共交通活性化協議会条例の制定 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○ <sup>1</sup> × <sub>1</sub>
議案第 4 号	中心市街地まちづくり審議会条例の制定 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 5 号	市立医療センター医療職就業貸付金貸付条例の制定 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 6 号	消費税法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 (厚生福祉・建 設)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 7 号	市立学校設置条例の一部を改正する条例の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定 (総務・厚生福祉・教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 8 号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 9 号	職員の給与に関する条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 10 号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 11 号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 12 号	特別職の給与に関する条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 13 号	教育委員会教育長の給与に関する条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 14 号	国民健康保険税条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 15 号	市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 16 号	水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 17 号	市道路線の認定 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 18 号	市道路線の廃止 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 19 号	平成30年度一般会計補正予算 (第 6 号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 20 号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 21 号	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 3 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 22 号	平成30年度介護保険特別会計補正予算 (第 3 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 23 号	平成30年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算 (第 2 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 24 号	平成30年度市立看護専門学校特別会計補正予算 (第 3 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 25 号	平成30年度病院事業会計補正予算 (第 3 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
議案第 26 号	平成30年度下水道事業会計補正予算 (第 2 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 27 号	平成31年度一般会計予算 (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 28 号	平成31年度国民健康保険特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 29 号	平成31年度後期高齢者医療特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 30 号	平成31年度介護保険特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 31 号	平成31年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計予算 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 32 号	平成31年度市立看護専門学校特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 33 号	平成31年度水道事業会計予算 (建 設)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 34 号	平成31年度病院事業会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 35 号	平成31年度下水道事業会計予算 (建 設)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 36 号	副市長の選任につき同意を求める [池貝 浩 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○
議案第 37 号	損害賠償の額を定める (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 38 号	平成30年度下水道事業会計補正予算 (第 3 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 39 号	平成31年度一般会計補正予算 (第 1 号) (総 務・教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 40 号	教育委員会教育長の任命につき同意を求める [鎌田 亨 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
議第 1 号議案	食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○
議第 2 号議案	UR賃貸住宅ストックの活用を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○
議第 3 号議案	高すぎる国民健康保険料(税)の引き下げへ抜本的改善を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×
議第 4 号議案	春日部市に児童相談所の設置を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	○	×	○	○ <sub>1</sub> × <sub>1</sub>
議第 5 号議案	消費税 1 0 %増税中止を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○ <sub>1</sub> × <sub>1</sub>
議第 6 号議案	県民投票の結果を尊重し、沖縄・辺野古基地建設を直ちに中止することを求める意見書 (付託省略)	否 決	×	× <sub>7</sub> - <sub>1</sub>	×	○	○ <sub>1</sub> × <sub>1</sub>
議第 7 号議案	日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書 (付託省略)	否 決	×	○	×	○	○ <sub>1</sub> × <sub>1</sub>

# 一般質問

## 市民の声を市政に

※ 鬼丸裕史議長は議責上（議事整理権）、  
監査委員の佐藤一議員は申し合わせに  
より一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

### 一般質問に28人が登壇

#### 市立医療センターの さい帯血活用について



武 幹也  
議員

最近、オリンピック出場候補選手に白血病が発症したとのニュースは大変驚いたところです。一日も早い回復を願って質問させていただきます。へその緒と胎盤に含まれるさい帯血を白血病などの治療に役立てたい。そんな思い、願いが全国に広がり220万人を超える署名や意見書運動などを背景に、1998年のさい帯血移植手術への保険適用となり、翌年には公的さい帯血バンクが設立され、今年で20年の節目を迎えました。本年3月には「改正造血幹細胞移植推進法」が施行されます。これにより、さい帯血事業はどのように変わり、採取実施についても伺います。

#### ○病院事務部長

移植に用いるさい帯血の取り扱いについては、原則国が許可した公的さい帯血バンクでなければ採取、保存、引き渡し等を行ってはならないこ

とになりました。民間のさい帯血バンクでは、あくまでも自己あるいは親族で利用することを目的とした採取、保存、引き渡しだけが認められます。このため、今回の改正であくまでも造血幹細胞の移植用として第三者に提供できる機関は国が指定した公的さい帯血バンクのみとなり、採取実施については、現在すぐには難しいと考えますので、今後の動向等を注視していきたいと考えています。

このほか  
○視覚障がい者の知る権利について

#### 市長の平成31年度 施政方針について



金子 進  
議員

本定例会の冒頭に市長から平成31年度に向けた施政方針について説明がありました。平成30年度から第2次春日部市総合振興計画が始まり、「各分野において、さまざまな取り組みを積極的に行い、また、将来の春日部市を見据えた事業を実施することがで

きた」とのことですが、市政運営は中長期的にしっかりと計画性を持って進められるべきであり、そういった意味では来年度以降も基本的な市政運営の骨格は第2次春日部市総合振興計画に沿って進めていくことになると思います。

そこで、子育てや健康長寿まちの拠点整備や経済の発展安心・安全や持続可能なまちといった分野において、さらに高い成果を上げていただくことを期待し、新年度に向けた市長の意気込みを伺います。

#### ○市長

平成31年度は春日部市にとって未来に向けて大きく動き出す新たなステージの幕開けの年です。春日部駅付近連続立体交差事業や、北春日部駅周辺地区土地区画整理事業を初めとするさまざまな事業において、市民の皆さまの目に見える形でまちづくりの動きを実感していただけるよう、まい進してまいります。そして、春日部市のさらなる飛躍のため、市民の皆さま、議員の皆さまの力を結集させ、「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」の実現に向けて、誰からも「選ばれるまち」を築いてまいります。

**職員の未払い超過勤務手当  
(残業手当)は早急に支給を**



松本 浩一 議員

昨年11月、市職員労働組合に、職員から「私の職場では、残業時間請求の調整が行われており、実際に働いた時間よりも大幅に削減した時間を請求するように代々引き継がれてきた。そのため、削減される残業手当は職員によって違うが、4割カットになることもある。その金額は自分自身のカット分でも年間30万円以上にもなる」という相談がありました。組合が事実関係を確認すると、平成23年度から調整を行った資料があり、組合員の相談内容は事実そのものでした。また、組合が行った試算では、平成28年度の生活保護担当職員の残業未払い合計は600万円以上に達しました。

人手不足によって、残業が常態化している部課があります。これは法令違反です。未払いの残業手当は早く支払うこと、必要な職員を増員する

こと、二度とこのようなことが起こらないよう改善する必要があると思いますが、市の考えを伺います。

○副市長  
さまざまな方面から徹底的に調査してまいります。

○市長

超過勤務手当の取り扱いについては、今後の調査を踏まえ適正に対応し、また、関係法令等に基づき適正な勤務管理と時間外勤務の削減を図ってまいります。

このほか  
○子どもたちの元氣、働く市民の安心を守る学童保育を



残業の常態化 (イメージ)

**市長の平成31年度  
施政方針について**



中川 朗 議員

平成30年12月に閣議決定された、平成31年度予算編成の基本方針では、アベノミクスの推進により、日本経済は大きく改善している。デフレではない状況を作り出す中で、GDPは名目、実質とも過去最大規模に拡大した。また、企業収益は過去最高を記録するとともに、就業者数の増加、賃上げなど、雇用・所得環境は大きく改善し、経済の好循環は着実に回りつつあるものとしていきます。引き続き、「経済再生なくして財政健全化なし」を基本とし、戦後最大の600兆円経済と財政健全化目標の双方の実現を進めることとしています。自治体の政策への直接的な影響としては、例えば、少子化対策などが大きく関わってくると思われまます。このような経済財政政策や社会保障制度改革などの国の動きに対しては、市としては平成31年度予算編成

の中で、どのような予算配分を行ったのか伺います。

○財務部長

平成31年度の予算は、国の動向を見据えつつ、本市の将来像である、「つながるにぎわう すまいるシティ 春日部」の実現に向け、第2次春日部市総合振興計画に示されている、「子育て・健康長寿」、「まちの拠点整備・経済発展」、「安心・安全持続可能なまち」の3つの重点プロジェクトに係る事業に優先的に予算を配分し、着実に実施していくための予算編成となるよう取り組みました。

**誰一人取り残さない社会  
を目指して (SDGs)**



荒木 洋美 議員

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする先進国を含む国際社会全体の開発目標で、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットで構成され「誰一人取り残さない」持続可能な社会を目指して世界

中で努力することが約束されました。日本でも政府内にSDGs推進本部が設置され、その達成に向けた取り組みの推進が重要とされています。

SDGsの理念は公明党の「人間主義」の理念と合致し、国際社会の隅々にまで浸透するよう国会議員と地方議員が協力し、推進しています。

そこでSDGsに対する市の認識を伺います。

○副市長

SDGsの17の目標と市政運営の目標は大いに関連があり、ともに普遍的目標として率先して取り組むべきものと考えています。また、地域全体の底上げや、自治体としての持続可能性を高める基盤づくりにもなると考えています。今後、どのような取り組みがこの地域の変革につながるか、持続可能なまちづくりにつながるような効果があるか、できるだけ早期に検討を進め、具体的に政策や事業に反映させていきたいと考えています。

このほか

○消防本部におけるさらなる女性消防吏員の活躍推進について

○人と動物が幸せに暮らせるまちづくり

### 奨学金返還支援制度の 創設 について



栗原 信司  
議員

教育は国家百年の大計と昔から言われるように、子どもたちは未来からの使者であり、大切に育てていくのは大人の責務と思うところです。国や県などでは教育機会の均等、充実を図る観点や、やる気はあっても経済的な問題から進学を断念する子どもたちのためにさまざまな教育支援策、援助策を用いております。

卒業後の奨学金の返済に關し、Uターン・Iターンという定住促進策や市内の企業に就職した場合、奨学金の返済免除や、返済金に対して補助を行っている自治体があります。春日部市としても取り組むことはできないものでしょうか。今、早急に取り組めば、県内初の事業と言えるようなレベルの取り組みとなります。

○学務指導担当部長  
本市の奨学金貸付制度は、貸し付けを受けた方からの返済金を原資として運用して

ることから、本市において奨学金返還支援制度を実施するためには運用財源を新たに確保する必要があります。

そのため、まずは既に実施されている他の自治体の実施状況や、その効果等を十分に調査し、検証する必要があるものと考えています。その上で本市の実情に合った導入方法等を関係部署と研究していきたいと考えています。

このほか  
○首都圏外郭放水路の見学ツアーについて  
○八木崎駅付近の利便性向上について

### 未来を育む奨学金について



会田 幸一  
議員

春日部市が今年度からスタートさせた「未来を育む奨学金事業」は夢を応援すると同時に、子どもたちの可能性やチャレンジ精神を育む上で非常に効果的であり、画期的な事業であると思います。そこで以下伺います。①この事業の目的と従来の奨学金貸付制

度との違いについて、②春日部市の特徴などを含めた事業概要について、③今後の事業展開に関する市長の考え。

○学務指導担当部長  
①学業、スポーツ、芸術などの分野を問わず、日ごろから思い描いている挑戦したい、実現したい夢や希望に関する提案に対し、奨学金を交付して応援することを目的としています。従来の制度との違いは、返済を求めず、事業の取り組み実績に基づき交付する制度としていところ。②複数年にわたる事業を行う場合は最大で5年間の継続的な支援を可能としていること、奨学金の額が1人もしくは1グループ当たりの上限額を100万円としています。

○市長  
③未来を担う子どもたちは、春日部市の宝であり、希望です。子どもたちの未来のため、必要な事業を継続的に進め、今後もこの奨学金制度の充実と安定的な運用を図るとともに、チャレンジ精神の醸成を図ってまいります。

このほか  
○春日部駅東口におけるリノベーションまちづくりについて

### 春日部市総合雨水対策 アクションプランの策定を



今尾 安徳  
議員

昨年建設委員会行政視察において東大阪市総合雨水対策アクションプランについて学び、市長のトップダウンで、全庁横断的な取り組みとしてこのアクションプランを策定したとお聞きしました。

石川市長は一昨年の市長選公約で治水対策強化を掲げ、100ミリ安心プランとともに、特に栄町2丁目の浸水被害解消も示されました。第2次総合振興計画にも市民が安心して生活できるような、浸水被害を軽減する目標を掲げ、誰もが住んでみたい、住み続けたいと思う、誰からも選ばれるまちを築いていくと決意を述べられています。浸水ゼロのまちを目指すが誰かが住み続けたいまちにつながるのではないかと思いますが、この全庁横断的なアクションプラン策定の考えを伺います。

○市長  
国家プロジェクトとして、

平成18年度の世界最大級となる首都圏外郭放水路の整備により、本市はもとより、周辺地域の浸水被害は大きく改善されましたが、さらなる浸水被害の軽減を図るため、市としてもこれまでに県内初となる100ミリ安心プランの登録など、さまざまな治水対策に取り組んできました。今後にも本プランを推し進めるとともに、プランに含まれない治水対策についても総合的に取り組んでいきます。

このほか  
○国民健康保険税、子どもの均等割は減免を



栄町2丁目の浸水被害



## 外国人に対する行政サービスについて



卯月 武彦 議員

今年4月から出入国管理法が改正され、外国人労働者やその家族が一層増加することが予想されます。そこで以下伺います。①市役所の窓口でどのように対応しているのか、また、外国人相談窓口を設置すべきだと思うが市の考えは、②小中学校では日本語を話せない外国人の子どもに対してどう対応しているか、また、支援員を配置して日本語や日本の習慣等、きめ細かな指導を行う必要があると思うがどうか、③市立医療センターでも外国人に対応した医療コーナーネーター等、体制の整備が必要ではないか。

### ○市民生活部長

①市のホームページを3ヶ国語に対応させ、各担当課でもさまざまな手法でコミュニケーションを図っています。また、対応が難しい言語は埼玉県の外国人総合相談センター埼玉による電話通訳や春日部

## 市長の平成31年度施政方針について



小久保博史 議員

基本目標4「環境・防災・生活分野」から伺います。昨年の西日本での豪雨では、甚大な被害が広範囲に発生したことは記憶に新しいところです。特にテレビ等でも報道されていた岡山県倉敷市真備地区の浸水範囲は、ハザードマップで示された浸水想定区域とおおむね一致していたと聞いていますが、この地区でも多くの方が犠牲になってしまいました。真備地区におけるアンケート調査の結果では、ハザードマップの存在を75パーセントの方は知っていたが、内容を理解していた人は24パーセントだったとのこと。このことから、災害ハザードマップは被害の軽減を図るために必要なもので、日頃から活用しておくべきものだと認識しています。そこで、防災ハザードマップの改定について、なぜこのタイミングなのか、改定すべききっかけが



いろいろな国から来た小学生 (イメージ)

市国際交流協会においても語学堪能な方に通訳ボランティアとして登録いただき、事前予約があれば可能な範囲で通訳を行うなど対応しています。○学務指導担当部長  
②学校の要望に応じて日本語指導教員を派遣し、言葉の学習だけでなく、安心して学校生活を送ることができるよう支援しています。○病院事務部長  
③全く日本語が話せない方はまれですので、現時点で導入は考えていません。このほか  
○二代表制の認識について

あったのか伺います。○市長公室長  
近年の気象変化により、経験したことのない降雨に伴う災害が頻発していることから、河川の洪水による浸水想定を従来の計画降雨によるものから想定最大規模降雨に見直しされ、平成28、29年に、利根川、江戸川、荒川において、洪水時の浸水想定が変更されました。また、県の浸水想定も見直し中であることから、完了後、速やかに最新データを反映させた災害ハザードマップを提供できるよう、平成31年度に着手するものです。

## 「春日部市未来を育む奨学金」について



永田 飛鳳 議員

この制度は、子どもたちの夢を扱う繊細さが必要な事業だと考えています。子どもが描いた夢を、事業として子どもたち自身が提案する。夢を持つことは大事ですし、春日部独自の奨学金事業として面白い取り組みかと思われ。ただ、その提案が採用される、

不採用になる、という、夢に対して優劣をつけるのはいかがなものなのか。私が初めてこの事業内容を聞いて素直に感じたことです。

「春日部市未来を育む奨学金」は今年度からの実施で、改善点は多くあるように感じます。制度のあり方としては検討が必要だと思いますが、今後の展開として、来年度以降、市長はこの事業をどのように運用していくのでしょうか。そのお考えをお伺いいたします。

○市長  
「春日部市未来を育む奨学金」は、今年度からスタートした事業です。この事業を通じて、子どもたち一人一人が自らの可能性を信じ、そして夢や希望に向かって積極的に挑戦していくこと、そのこと自体が、この事業を実施する最大の目的です。

そのため、子どもたちの輝かしい未来を応援し、また、夢を実現していけるよう、この奨学金制度を継続的かつ安定的に運用してまいります。このほか  
○オリンピック・パラリンピックで春日部を盛り上げるために

## 災害対応について



滝澤 英明  
議員

大規模な災害では、災害対応を市職員だけで行うことは困難な状況です。もちろん国や県、近隣市の応援協力も必要となります。また、公的機関の応援と同時に、直ちに対応可能な市内の民間事業者、団体等の協力も非常に重要です。そこで以下伺います。①災害時応援協定の締結状況について、②災害時医療体制について、③災害時医薬品等の備蓄を市内薬局14ヶ所とした根拠について、④災害時救護医療機関としての市立医療センターの取り組みについて

### ○市長公室長

①自治体だけでなく、多くの民間事業者や団体と物資の優先提供や人的支援等に関する応援協定を締結しています。

### ○健康保険部長

②市薬剤師会の協力のもと、災害発生後72時間の救護活動に用いられる医薬品等を市内14薬局で備蓄する委託契約を

## 閉校跡地利用と農業振興について



進 山崎  
議員

○職員の採用等に関する市の取り組みについて

このほか  
④多数傷病者搬送訓練を年1回、消防本部と合同で実施し、自家発電機の運転、飲料水タンの点検等、災害発生に対する備えをしています。

### ○病院事務部長

締結し、各薬局で約70品目の医薬品や衛生材料を備蓄いただいています。③1つの店舗に集中させず二重化を図るため、医療救護所5ヶ所に対して周辺各2薬局とし、人口の多い2ヶ所は周辺各4薬局の合計14薬局としています。

### ○環境経済部長

また、庄和北部地域の小中学校が統廃合され、閉校する小学校の一つは農地の中央にあります。地域環境に即した活用として農業関係に利用したらと思います。国や県の農業支援制度の利用、農業関係研究施設や観光農園などで農業振興ができないか伺います。

### ○環境経済部長

農林業センサスの調査では、平成27年の農家数1305戸、就業人口1908人で、後継者不足等課題はありますが、集約化した農地で効率の良い農業経営を目指す農業経営者や、多様な販売ルートを選択しながら農業経営の基盤を強化している担い手農家も増えてきています。

### ○市長

今後とも担い手となる人材の育成や新たな視点を持ちながら積極的に農業を営んでいたけるよう、でき得る限りの支援を行ってまいります。

### このほか

○安心安全なまちづくり

## 教職員の異常な長時間労働の是正を



坂巻 勝則  
議員

埼玉県の調査によると、本市の月平均の残業時間は、小中学校では約75時間、中学校では約70時間でした。教員の長時間労働の原因の一つは残業手当が支払われていない事にあります。公立学校の教員は4パーセントの教職調整額を上乗せするだけで、いくら残業しても残業代はゼロです。そのため、どの教員が何時間残業したのか分からない状態が続き、長時間労働が野放しになりました。割増賃金を支払う残業代の制度は、長時間労働に歯止めをかける仕組みです。その適用除外が誤りだったことは明らかで残業代を支払うようにすべきです。

また、教員の長時間労働解消には、授業コマ数の削減も必要です。以前は1日の勤務時間8時間のうち、4時間を授業にあて、残り4時間を授業準備や、その他校務に充てていました。しかし、教員の増

### ○市長

員無しにコマ数を増やしたため、勤務時間内に仕事を終わることができなくなりました。教員の異常な長時間労働を是正するには、教員の定数増を国に求め、1人あたりの授業コマ数の削減が必要だと思います。市長の考えを伺います。

### このほか

○子どもを虐待から守るのは社会の責務

## サービス残業...



長時間労働の教職員 (イメージ)

**ウイング・ハット春日部  
周辺の整備について**



河井 美久  
議員

総合体育館ウイング・ハット春日部は市を代表する施設として市民の皆さんに愛され、多くの方がスポーツを行っていただきます。また、観客席のあるメインアリーナでは、プロバスケットボールの試合や卓球のプロリーグ、大相撲春日部場所の巡業も開催され、市内の方が観戦にいられています。今回、体育施設整備基本計画が作成されることですが、この計画の中でウイング・ハット春日部周辺の整備に関する基本構想を示されています。どのような計画なのか伺います。

○社会教育部長

現在策定中の体育施設整備基本計画では、本市のスポーツ・レクリエーション活動の拠点としてウイング・ハット春日部周辺の整備についての基本的な考え方を定め、計画地を3つのエリアに分けて段

階的に整備することを検討しています。

①谷原中学校の跡地を中央整備エリアとして跡地の利活用を図ること。②谷原中西側グラウンド周辺を西側整備エリアとして屋外競技場等の整備についての検討を行うこと。③中野グラウンド周辺を東側の整備エリアとして屋内施設等の整備について検討を行うこととしていきます。

今後は、エリアごとに本市にとって必要なスポーツ施設の具体的な機能、設備、規模等を示した計画の策定に取り組んでまいります。



ウイング・ハット春日部

**学生に選ばれる住みよい  
街の構築について**



木村 圭一  
議員

本市では、「大学生政策提案コンテスト」を行っていただきます。そこで学生から提案された政策を事業化し、行っていくことは重要な取り組みであると考えますが、本市の見解を伺います。

また、本市では「官学連携団地活性化推進事業」という全国でも有名な学生支援を行ってありますが、良い取り組みのわりに利用者が少ない気がします。そこで、新たなPR等の拡充を行う必要性について本市の見解を伺います。

次に、現在、北春日部駅周辺地区土地区画整理事業が進んでいます。この地区は近隣に大学があることから、学生等も交流できる場所があれば、周辺地域の賑わいにつながると思います。本市の見解を伺います。

○総合政策部長

優れた提案については、今後においても提案した学生と

ともに事業化に向けて取り組んでいきたいと考えています。大学関係者、学生からいただいたご意見を参考にしながら、より効果的なPRを行っていきたく考えています。

○都市整備部長

官民学が連携した取り組みにより地域コミュニティが活性化されるまちづくりは、本市の目指す駅を中心としたまちづくりのモデルとなるもので、まずは土地区画整理事業準備会と検討してまいります。

このほか

○AIや、RPAを導入した業務改善について

**北春日部駅周辺地区  
土地区画整理事業について**



山岡 剛一  
議員

本事業は直接的な人口増加が期待できる重要な事業であると認識しています。おそろしくこの事業の完成成功は、春日部市全体的にはもちろん、内牧地区のまちづくりにおいても、例えるなら武里地区に武里団地ができたときと同じぐらいのインパクトがあるの

ではないかと勝手に想像を膨らませていきます。私自身、大規模開発の進め方を理解しているわけはありませんので、質問を通して事業に対する理解を深めていければと思います。そこで、土地区画整理事業の事業主体にはどのような種類があるのか伺います。

○都市整備部長

現在、北春日部駅周辺地区では、土地所有者等により構成された土地区画整理準備会において、組合施行による土地区画整理事業の実現を目指しています。一般的に土地区画整理事業を実現させる事業主体は大きく2種類に分けて、土地所有者が主体となる手法と、地方公共団体等が主体となる手法があります。前者は土地所有者が1人または数人が共同して実施する個人施行、土地所有者が7人以上で共同して実施する組合施行、

土地を所有する株式会社等が実施する区画整理会社施行等に分類され、後者は市町村または都道府県が事業主体となり施行するものです。このほかにも国やUR都市機構等が主体となる施行方式もあります。

このほか

○新本庁舎について

## 子どもたちを 虐待から守るために



古沢 耕作  
議員

近年、児童虐待が全国的に増加し、深刻な社会問題となつていきます。千葉県野田市では、親から虐待されていた小学4年生の女児が今年1月に亡くなる事件が発生し、大きな衝撃を受けました。そこで伺います。①本市における児童虐待に関する過去3年間の相談件数と主な通報者について②児童虐待の早期発見のため、市民の皆さまにも広く協力を求めるべきでは。③野田市のケースでは、被害者の児童が学校アンケートに書いた「先生、どうにかありませんか」という悲痛な心の叫びが生かされなかった。本市でも小中学校においていじめ等に関するアンケートを行っているが、その内容は学校によって異なり、家庭での悩みも書きやすくする必要があると感ずる。内容を統一して、虐待を含む回答欄をしっかりと設けるべきではないか。

### ○こども未来部長

①相談件数は、平成27年度215件、28年度358件、29年度314件で、通報者は近隣住民の方、保育所、幼稚園、小・中学校、放課後児童クラブ等です。

②児童相談所全国共通ダイヤル「189」（いちはやく）のポスターを198の自治会に對して掲示をお願いしたところです。

### ○学務指導担当部長

③さらに児童生徒が悩みを書きやすいアンケートになるように、見直しを進めていきたくと考えています。

## 人口増加政策と 少子化対策について



栄 寛美  
議員

春日部市に住みたい、春日部市で子を産み育てたい、そして輝かしい未来を担う子どもたちの笑顔であふれる豊かなまちにしていかなければなりません。転出入者の状況は、これから結婚を考える世代、子を産み育てていく世代の方が定着せずに多く転出してしまつていきます。そこで以下伺います。

①若い世代が本市に定住するための雇用の創出

②子育て施策、子育てサービスに関して少子化対策の考え方や具体策

### ○総合政策部長

①これまで企業誘致奨励事業や法人設立応援補助金の交付など、地域経済活性化と併せて雇用の創出に取り組んできました。今後は東埼玉道路沿道となる赤沼・銚子口地区における産業団地の整備など新たな雇用創出に取り組み、職と住居が近接したコンパクトで魅力的なにぎわいのあるまちづくりを進めていきます。

②一例として、都市整備部が提案する空き家リノベーション助成制度に総合政策部が所掌する定住促進対策としての助成を加えることで、子育て世代の転入促進とあわせ、転出抑制を図り、少子化対策や人口の流出減、流入増につながるものと考えます。このように少子化対策については子育て施策のみならず、部局横断的、全庁的に取り組む必要があると考えています。

○このほか  
○市内公共交通について

## 手話言語条例の制定



並木 敏恵  
議員

埼玉県は2016年度から「手話言語条例」を施行しています。「手話は言語」との認識に基づき、耳の聞こえない人と手話で心を通わせ、お互いを尊重し、共生できる社会を目指して制定されました。春日部市は、「手話を言語と認め、手話でコミュニケーションを図れるようにしてほしい」という聴覚障がい者の願いをどう認識していますか。また、その実現のために市はどのような対応をしていますか。「手話は言語」という認識を明記し、手話の普及や手話を使用しやすい環境整備などを定めた「手話言語条例」を制定すべきと思うが、市の考えはいかがでしょうか。

### ○福祉部長

手話が聴覚に障がいのある方の言語であるとの理解を深め、あわせて手話は聴覚に障がいのある方にとって意思疎通ツールとして大変重要なものであることを、より多くの方々に広く普及させていく必要があるものと認識しています。現在の対応として、手話講習会を開催し、手話が身近なものとして普及するよう、啓発に努めています。手話言語法制定を求める動きが全国に広まっています。国民全体が手話を理解し、手話を使いやすい環境づくりを支援し、お互いを尊重し合い、共生する地域社会を築いていくための法整備を国において実現する必要がありますと考えています。

### ○このほか

○安心の介護制度に充実を



手話は言語 (イメージ)

## 冠水、浸水被害軽減 対策について



水沼日出夫  
議員

平成27年9月、線状降水帯から長時間降り続いた豪雨により、市内の多くの場所で冠水、浸水被害が発生しました。昨今の尋常でない大雨に備える被害軽減対策として、流れが滞りがちな水路の排水力強化施策と、逆流や滞留対策としての強制排水施策を伺います。また、戸別、地区ごとの自主防災組織活動への支援等についても、具体的な取り組みの内容を伺います。

### ○建設部長

水路の流れを確保するため、しゅんせつや除草、清掃などを実施しています。水路の逆流や滞留については、しゅんせつ効果の高い箇所から汚泥等を除去するとともに、未整備の水路ではコンクリートの柵板で補修するなどの対策を実施しています。

また、下流水路の影響を受けやすい区域では、逆流を防止するためのフラップゲート

とポンプの組み合わせにより強制排水することが効果的な方策の一つであると考えていますので、今後も十分に調査検証していきます。

### ○市長公室長

具体的には、土のうの配布、止水方法などの紹介のほか、財政的支援として自主防災組織が整備する防災資機材購入などに対して自主防災組織育成事業補助金を交付し、地域の実情に合った資機材整備による防災力強化を図ります。

### このほか

○宿泊型ビジネス、観光の振興について



平成27年9月豪雨時の冠水（不動院野交差点付近）

## 安全な橋を守ろう！



岩谷一弘  
議員

市内の多くの橋が老朽化し、修繕、長寿命化が急務となっています。市では、春日部市橋りょう長寿命化修繕計画を作成し、推進していますが、この進捗状況についてお尋ねします。未計画分は計画に位置付けるのか。また工事にかなり工期が長くなっている浜川戸橋、内谷陸橋の工事は、いつ完成するのでしょうか。

### ○建設部長

現在本市におきましては、1、2級幹線の道路やバス路線など主要幹線の橋りょうや橋長15メートル以上の橋りょうなど、主要橋47橋を対象としまして、長寿命化修繕計画を策定しています。また、平成31年度に、残り約550橋を対象とした計画を策定したと考えています。浜川戸橋は、平成28年度から工事に着手して以来、仮橋の設置、既存橋台の耐震化、新設橋台の設置などの工程を経まして、

現在橋桁の工場製作が完了し、橋桁の架設を予定しており、平成31年度には開通を予定しています。内谷陸橋は、東武鉄道の線路に近接したこともあり、電車が動いていない夜間に作業時間が制限されたことや、交通渋滞を極力少なくするため、通勤帰宅時間帯を避けて作業を行うなど時間的な制約を受けたことにより工事期間を要していますが、平成31年度に工事を完了する予定です。

### このほか

○幼稚園・保育所（園）等の無償化について

## 国民健康保険における 被保険者証と高齢 受給者証の一体化を



鈴木一利  
議員

国民健康保険の被保険者の中で、70歳以上75歳未満の方が医療機関で診察を受ける場合、国民健康保険証と国民健康保険高齢受給者証の二つを提示する必要があります。また、春日部市ではそれぞれ大きさが違うものが交付されていて、携帯するには非常に不

便です。さらに交付発行時期についても、それぞれ違う時期に発行されていることも利用者にとつて分かりづらいものになっていないでしょうか。そこで春日部市の現状と、一体化についての考え方を伺います。

### ○健康保険部長

保険証の形式は、被保険者証はカードサイズ、高齢受給者証ははがきをひと回り小さくしたサイズとなっています。交付時期は、被保険者証は毎年11月1日、高齢受給者証は毎年8月1日としています。

一体化については、被保険者の利便性向上のほか、保険証の郵送費用が減少する等のメリットが見込まれますが、多額のシステム改修費用や、被保険者証や高齢受給者証及び納税通知書の発送業務が一時期に集中するなど課題があることから、基幹システム移行に併せて対応を図ることが最も効果的かつ効率的であると捉え、2021年度以降の実施を予定しています。

### このほか

○放課後子ども教室のさらなる充実について

○市民にやさしい市役所について

## 庄和北部地域 学校再編について



吉田 稔  
議員

県内初の義務教育学校「江戸川小中学校」が、平成31年4月9日に開校します。1年生から9年生までの160名で特色ある独自の教育活動に取り組みます。

今後、江戸川小中学校がどのような学校を目指すのか、市の考えを伺います。

### ○教育長

入学してから4年間、1年生から4年生で学びの基本の習慣化を図り、また卒業までの2年間、8年生と9年生では自己実現への学びを重点として、生徒が自らの生き方を見つめ、主体的に学び、応用する力を培います。その間をつなぐ3年間、5年生から7年生は、心身ともに大きく成長し、変化する時期です。人間関係の悩みを抱えたり、学習内容に苦手意識を持ち始めたりする子も出てきます。この大きな変化の時期に地域、保護者にも支えられ、安定し

た学習環境の中で子どもたちの学力を伸ばせる理想を掲げた学校が江戸川小中学校です。また、発達段階の異なる子どもたちが一緒に生活する江戸川小中学校では、1年生から9年生までの子どもたち同士がさまざまな場面で伝え合い、学び合い、育ち合い、思い合いを通して、考え方や視野を広げながら、うれしい体験を積み上げて、春日部メソッドを具現する理想の学校を目指してまいります。

このほか  
○庄和インター周辺地区について

## 教員の働き方 改革について



石川 友和  
議員

昨今、国や県でも取り上げられている教員の勤務時間超過について、私も何とかより良い環境で先生方に働いていただきたいと切に願っており、最高の環境で働けてこそ、最高のパフォーマンスで子どもたちに指導ができるものと思いい今回この質問に至りました。

文部科学省の中央教育審議会の内容を踏まえ、埼玉県業務改善方針が平成31年3月末を目途に策定されることが分かりましたが、春日部市における教員の働き方の現状と課題について伺い、それらを踏まえ春日部市の今後の教員の働き方改革について教育長に伺います。

○学務指導担当部長  
本市小中学校教職員の働き方の現状は、文部科学省が示している1か月の上限45時間を11時間3分超過となることから、長時間勤務が課題であると捉えています。対応としては、学校及び教職員の業務範囲の明確化を図ることや、会議や行事、校務分掌の見直しで在校時間短縮に努めるとともに、在校時間が長い教職員に管理職が個別指導する等、勤務環境を整備していきます。

### ○教育長

使命感、責任感に燃える教職員の職務を遂行することができる環境を整え、授業の質の向上を目指すことが働き方改革を進める上で重要なことだと考えています。

### このほか

○より便利で市民に喜ばれる公園を目指して

## 江戸川小中学校について



榛野 博  
議員

県内初の義務教育学校となる江戸川小中学校の開校を目前に、改めて特色ある学校づくりを目指し、学力向上を指した地域との連携の一つとして、「家庭と連携した家庭学習」とは具体的にどのようなものか、また、今回同時に武里南部地域の学校再編により、春日部南中学校も開校します。今後、この2つの学校再編をモデルに春日部市内の他の地域でも学校再編が進んでいくのでしょうか。市内の他の地域の学校再編について、市の考えを伺います。

### ○学務指導担当部長

地域との連携の基本は家庭との連携、地域からの信頼の基本は家庭からの信頼であると考え、地域と連携した学力向上に取り組めます。具体的には学校で作成した9学年共通の家庭学習の手引きを活用し、家庭、学校の両者による見届けと評価をしながら、子

どもたち一人一人の学力の向上を目指してまいります。

### ○教育長

今後のその他の地域の学校再編につきましても、公立学校の強みは「地域を持っていることである」を基本とし、それぞれの地域の実情に合わせて、地域の意見を伺いながら、①まちづくりとしての学校再編、②学校の適正規模を目指す学校再編、③小中一貫教育推進のための学校再編、④特色ある学校づくりとしての学校再編の4つの視点をもとに進めていくべきものではないかと考えます。



江戸川小中学校

デマンド交通の導入で、  
高齢者の外出機会の確保を



大野とし子  
議員

高齢者の皆さんから、車の免許を返納し、タクシー通院で経済的に大変、今の春バスでは時間が合わない、せめて駅までの交通網を充実してほしいとの声を多くいただきました。高齢者や障害者などの交通弱者の交通施策は重要です。近隣市でも久喜、白岡、幸手、加須と多くの自治体がデマンド交通を取り入れています。春日部市のまちづくりの根幹は、コンパクトシティプラスネットワークの都市構造とされています。私はコンパクトシティに賛成の立場ではありませんが、機能を市街地に集約し、公共交通で結ぶというなら、市街地以外の地域の交通網の充実が求められます。そこで、春日部市にも交通不便地域にデマンド交通の導入をと考えますが、市の考えを伺います。

○都市整備部長  
デマンド交通の導入について



デマンドバス (イメージ)

では、春日部市地域公共交通活性化協議会の検討において、地域の特性や交通状況を総合的に判断し、実施すべきで、デマンド交通は本市にはなじまないものと結論づけており、導入は考えていません。

○市長

本市の公共交通は、すべての関係機関と協議した中で、高齢者の対応はもとより、あらゆる世代にとって利便性の高い公共交通として対応しています。

このほか  
○庄和地域東武線以南に消防分署を

改正入管法対策について



井上 英治  
議員

昨年暮れ、国会で入管法が改正され、外国人労働者が増大します。自治体で混乱しない対策を期待します。例えば、国民健康保険では滞納、保険証の使い回し。このほかにも、生活保護の悪用、各種社会制度の抜け穴利用、治安悪化が報道されています。日本では市民税算定の際の扶養控除に人数制限や海外送金に制限がなく、悪用されやすくなっています。意図的に所得を住民税非課税まで下げれば各種保険の減免、公営住宅家賃や保育所保育料の減額などが受けられることとなります。

また、自治基本条例等の市民の定義には国籍条項も春日部市在住規定もなく、市議会議決事項や市の方針が市外の方たちの圧力で否定されかねません。改正の有無について市の考えを伺います。

○総合政策部長  
市民とは市内に居住し、通

勤し、通学し、または活動する個人及び団体としています。条例の目的として掲げるまちづくりには、そこに生活の本拠を持つ住民だけではなく、春日部市において多くの時間を過ごす通勤、通学者やその地域で活動する市民団体にも関わるものです。引き続き、暮らしやすいまちの実現に向け、多くの市民の皆さまと一体となり、取り組んでいきたいと考えており、市民の定義を変更する予定はありません。

このほか  
○児童虐待を防ぐにはどうしたら良いのか

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。  
傍聴席は56席(車イス傍聴席2席含む)となります。  
本会議は、通常午前10時から開催します。

次の定例会は  
5月28日(火)  
開会予定です

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

2月13日  
平成31年3月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

1月16日  
一般質問における制限時間について

2月6日  
一般質問における制限時間について

議会報告会について  
議場内の設備等について  
常任委員会視察における執行部の随同行等について

▽広報広聴委員会  
3月18日  
議会だより第55号について  
4月4日  
議会だより第55号について

▽図書室運営委員会  
4月4日  
平成30年度図書費決算について  
平成31年度図書費予算(案)について

4月4日  
平成31年度図書費予算(案)について

合計	14	12	11	8	6	5	3 / 1	28	26	25	22	21	2 / 18	月日	今定例会傍聴状況
175	4	11	59	32	27	28	0	0	0	3	2	4	5	傍聴者数	
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	委員会	委員会	質疑	質疑	質疑	質疑	上程・説明	主な日程	

### 傍聴して一言

初めて参加いたしました。浸水、市長と議員の関係、外国人の対応、健康問題等、多数の問題に議員の皆さんが真剣に取り組んでいただいているのがよく理解できました。

男性・79歳

質問する方も答弁する方もしっかりと調べて行っていることに感心しました。国会答弁を見ていると、やじや相手を見ればかにしたやり取りが多いので、春日部市議会の紳士的な対応はとてもよかったです。

男性・67歳

本日は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。春日部市の目指している方向を感じることができ、思っていたよりも明るい感じで行っていたのでとても勉強になりました。

男性・21歳

初めて議会というものを傍聴させていただきました。印象として市民の皆さんの議会への関心が高いことに驚きました。多くの市民の方々が傍

聴に参加されており、市民の声が直接届いているのだなと感じました。

男性・21歳

初めて議会をする様子を見させていただきました。今回は一般質問でしたが、議案等の内容の議会にも参加させていただきたいと思いました。

議会の雰囲気は重いとイメージしていましたが、ちょっとした笑いがあつたり、話が詰まった人に対して「頑張れ」など声をかけていてよい雰囲気だと感じました。

男性・21歳

私は今まで議会を傍聴したことがなく、詳しくどのようなことが議論されているのかわかりませんでした。本日傍聴をして、一般市民の意見を聞き上げ、詳しく説明をしていてとても興味深くなりました。また議会を傍聴して、専門的かつわかりやすい説明を聞いて得られるものを得たいと思います。

男性・21歳

官学連携や北春日部駅周辺地区土地区画整理事業など、私たち大学生にとって身近な

課題についての話を聴くことができ、とても勉強になりました。また、自分の身近なところにもさまざまな課題があるということに気付くことができました。人ごとではなく、自分のこととして考えなければならぬと改めて感じました。

女性・21歳

大学生政策提案コンテストについて、今回議会を傍聴させていただいたことで初めて知ることができました。自分の通っている大学も参加しているのに知らなかったことから、まだまだ認知度が低いのではないかと思います。北春日部駅周辺地区土地区画整理事業については、駅を利用している学生としてとてもいいと思います。しかし、何年を目安に行うのか、学生交流の場としてどのようなものを考えていくのが気になりました。駅の近くにカフェや食事のできるところがあるといいなと思いました。本日はありがとうございました。

女性・21歳

※割愛させていただいた部分もあります。

### 編集後記

青葉若葉の好季節、皆さま、健やかに過ごさることを祈ります。

3月定例会では、平成31年度の当初予算のほか、犯罪被害者を支援するための条例制定等の議案が採択されました。これは、基本理念とともに被害者の方への見舞金支給を規定している先進的なものだと思います。新元号も「令和」となりました。新たな時代も住民福祉の増進のため、議員一同、協力して取り組んでまいります。

広報広聴委員会

委員長	古沢 耕作
副委員長	坂巻 勝則
委員	榛野 博
委員	石川 友和
委員	今尾 安徳
委員	吉田 稔
委員	鈴木 一利
委員	武 幹也
オブザーバー	
議長	鬼丸 裕史
副議長	荒木 洋美

〒344-8577  
埼玉県春日部市中央六丁目2番地  
春日部市議会  
Tel 048-736-1111 (代表)  
内線3116

